

令和7年度 第3回 田原本町学校・幼稚園規模適正化検討委員会 会議要旨

●協議会で出された意見

1. 中学校の再配置について

・できるだけ早い統合を進めない理由は何か。

➡子どもたちへの周知期間、教育内容のすり合わせ、教職員人事の調整に加え、財政の調整が必要になる。小学校建設、給食センター建設も現在進めており、町の負担を軽減しながら、少しでも早く統合するために努めたい。子どもたちの状況をふまえることは勿論のことだが、国等からの財政的な支援を最大限活用することも大事と考えている。

・田原本中学校の施設で賄えるのか。

➡過去にクラス数の多い時期もあり、賄えると考えている。

2. 幼稚園の再配置について

・前回の会議において、検討委員会としては「令和8年度の募集停止もいたし方ない」ということであったが、保護者の意見が大切であるというご意見もいただいていた。前回の会議後に、保護者との意見交換を3回実施した。

・保護者からのご意見として、北幼稚園がいつかは閉園になるとは思っていたが、園児募集停止の話が急すぎて困惑している。

・在園児の保護者からは、下に兄弟がおり、募集停止となると兄弟で別々の幼稚園に通うことになるが、2園に同じような時間に送迎することができない。

・また、新年少児の保護者からは、年長になる令和10年度は、希望園児が1名になっても必ず受け入れてくれるのか。年長まで通うつもりで過ごす子どもが、急に転園することになると、子どもが戸惑うので、令和10年度に園があるのかないのかははっきりしてほしい。等のご意見があった。

➡事務局としては、現在の年少児が一定数いるが、この学年が卒園すると在園児数が激減するものと思われる。また、令和11年4月以降、「まほろば小学校」で多数の児童と学び合うことになることから、1年前の令和10年度から多数の園児と学び合うことで、統合時の園児たちの心理的負担を少しでも軽減することができると考える。

そこで、保護者の意見を最大限尊重し、「令和9年度末をもって、北幼稚園を閉園する」ことがよいのではないかと考える。令和8年度及び令和9年度については、園児募集を継続して行い、入園を希望された保護者には、現在の実情や今後の状況について丁寧に説明させていただきたいと考える。

【北幼稚園の再配置に関わる一部答申について】

・令和9年度に、在園児が2・3人になることはないのか。

➡現在7人いる年少児の保護者は、北幼稚園での卒園を強く希望している。

・北幼稚園の通園方法は。また、認定こども園の通園方法は。

➡北幼稚園では徒歩又は自転車。認定こども園では、園区を外しており、所在地の園区外からの通園については車送迎も可。

・転園した際に、送迎はあるのか。

➡閉園になった際には、北幼稚園から代替園までの送迎を検討する。

・園児募集を継続して、令和9年度に閉園。これをしっかり説明していく。ここが落としどころかと思う。

・前回「令和8年度の募集停止も仕方ない」としながらも、保護者の意見を尊重すべきとしていた。この案は、何度も保護者との意見交換を行い、保護者の意見を尊重したものとする。

◆検討委員会としては、北幼稚園を令和9年度末に閉園とするのが適切とする。

一部答申の提出については、委員長に一任する。